

排出状況報告書（特定大規模事業者用）

平成 27 年 7 月 28 日

神奈川県知事殿

郵便番号 330 - 0846

住 所 埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105やすなビル2階

氏 名 株式会社 ハイデイ日高  
代表取締役社長 高橋 均



神奈川県地球温暖化対策推進条例第14条の規定により、次のとおり提出します。

1 事業者の名称等

事業者の氏名又は名称及び法人にあっては、代表者の氏名		株式会社 ハイデイ日高 代表取締役社長 高橋 均	
事業者の住所又は主たる事務所の所在地		埼玉県さいたま市大宮区大門町3-105 やすなビル2階	
特定大規模事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/>	年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（神奈川県地球温暖化対策推進条例施行規則（以下「規則」という。）第2条第1号該当の事業者）	原油換算エネルギー使用量の合計 2,611 k1 うち 919 k1
	<input type="checkbox"/>	連鎖化事業者のうち、年度当たりの原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業者（規則第2条第2号該当の事業者）	k1 うち k1
	<input type="checkbox"/>	対象自動車を100台以上使用する事業者（規則第2条第3号該当の事業者）	台 うち 台
主たる事業の業種	大 分 類	<input type="checkbox"/> A 農業, 林業 <input type="checkbox"/> B 漁業 <input type="checkbox"/> C 鉱業, 採石業, 砂利採取業 <input type="checkbox"/> D 建設業 <input type="checkbox"/> E 製造業 <input type="checkbox"/> F 電気・ガス・熱供給・水道業 <input type="checkbox"/> G 情報通信業 <input type="checkbox"/> H 運輸業, 郵便業 <input type="checkbox"/> I 卸売業, 小売業 <input type="checkbox"/> J 金融業, 保険業 <input type="checkbox"/> K 不動産業, 物品賃貸業 <input type="checkbox"/> L 学術研究, 専門・技術サービス業 <input checked="" type="checkbox"/> M 宿泊業, 飲食サービス業 <input type="checkbox"/> N 生活関連サービス業, 娯楽業 <input type="checkbox"/> O 教育, 学習支援業 <input type="checkbox"/> P 医療, 福祉 <input type="checkbox"/> Q 複合サービス事業 <input type="checkbox"/> R サービス業（他に分類されないもの） <input type="checkbox"/> S 公務（他に分類されるものを除く）	
	中 分 類	M 76 飲食店	
連絡先	部 署 名 営業管理部 店舗設備管理室 電 話 番 号 048 - 644 - 3231 F A X 番 号 048 - 640 - 6114 電子メールアドレス oono@hiday.co.jp		

※受付欄		※特記欄
------	--	------

(第2面)

2 計画期間

26 年度 ~ 28 年度	報告対象年度	26 年度
---------------	--------	-------

3 エネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標 (規則第2条第1号又は第2号該当の事業者)

県内に設置しているすべての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	25 年度 ( 年度 ~ 年度)		最終年度における排出量の合計量	(実)	4,617	tCO <sub>2</sub>
	基準排出量の合計量	(実)	4,760		(調)	4,110	
	報告対象年度における排出量の合計量	(実)	5,260		(調)	4,560	
県内に設置しているすべての工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類	床面積×営業時間		排出量原単位の単位	tCO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup> ・千時間		
	基準年度における排出量原単位	(実)	3.34	tCO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup> ・千時間	(実)	3.24	tCO <sub>2</sub> / 千m <sup>2</sup> ・千時間
	報告対象年度における排出量原単位	(調)	2.88	(実)	2.98	(調)	2.58
報告対象年度におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明	<p>弊社では、全店舗にエネルギー計測装置を取り付け、電気・ガスの使用量をリアルタイムで計測しています。電気やガスの使用量をリアルタイムで計測する事により、照明の点灯時間短縮や、営業前の準備時間での節電など、省エネに取り組みやすい対策を実施しています。</p> <p>社内では各店舗のエネルギー使用量を公表し、従業員の節電意識の向上を図り、啓蒙活動も行っています。</p> <p>また、LED照明等の改修を行ったり、ガス使用量の少ない調理機器の開発なども実施し、エネルギー使用量の低減を図っています。</p>						

設置しているすべての工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	工場等における排出量	基準排出量の合計量	(実)	tCO <sub>2</sub>	最終年度における排出量の合計量	(実)	tCO <sub>2</sub>
		報告対象年度における排出量の合計量	(調)	tCO <sub>2</sub>	(調)	tCO <sub>2</sub>	
	工場等における排出量原単位	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
		基準年度における排出量原単位	(実)	(調)	最終年度における排出量原単位	(実)	(調)
		報告対象年度における排出量原単位	(実)	(調)			

(第3面)

4 エネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標 (規則第2条第3号該当の事業者)

県内で使用しているすべての対象自動車のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準年度	年度 ( 年度～ 年度)		最終年度における排出量の合計量	tCO <sub>2</sub>	
	基準排出量の合計量	tCO <sub>2</sub>				
	報告対象年度における排出量の合計量	tCO <sub>2</sub>				
県内で使用しているすべての対象自動車の排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
	基準年度における排出量原単位			最終年度における排出量原単位		
	報告対象年度における排出量原単位					
報告対象年度におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明						
対象自動車の使用状況	使用台数			割合		
	総数		台			
	うち電気自動車		台	%		
	うち天然ガス自動車		台	%		
	うちハイブリッド自動車		台	%		
うちディーゼル代替LPガス自動車		台	%			
使用しているすべての自動車におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	自動車における排出量	基準排出量の合計量	tCO <sub>2</sub>	最終年度における排出量の合計量	tCO <sub>2</sub>	
		報告対象年度における排出量の合計量	tCO <sub>2</sub>			
	自動車における排出量原単位	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位	
		基準年度における排出量原単位			最終年度における排出量原単位	
		報告対象年度における排出量原単位				

(第4面)  
(個別票)

5 エネルギー管理指定工場等ごとのエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標

(1) 工場等の名称等

工場等の名称			
工場等の所在地			
工場等の規模	建築物の延べ面積		m <sup>2</sup>
連絡先	部署名		
	電話番号 - -		
	FAX番号 - -		
	電子メールアドレス		

(2) 工場等のエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況及び削減の目標

工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	基準排出量	(実)	tCO <sub>2</sub>	最終年度における排出量	(実)	tCO <sub>2</sub>
	報告対象年度における排出量	(実)	tCO <sub>2</sub>			
工場等における排出量原単位によるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況等	原単位の指標の種類			排出量原単位の単位		
	基準年度における排出量原単位	(実)		最終年度における排出量原単位	(実)	
	報告対象年度における排出量原単位	(実)				
報告対象年度におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出の状況に関する説明						

- 備考
- ※印の欄は、記入しないでください。
  - のある欄には、該当する□内にレ印又は■を付してください。
  - 第1面の1の「主たる事業の業種」の欄には、統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、産業に関する分類の名称及び分類表を定める件（平成21年総務省告示第175号）に定める日本標準産業分類の大分類及び中分類を記入してください。
  - 氏名を本人が自筆で記入したときは、押印を省略することができます。
  - 報告対象年度におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量の算定の根拠を明らかにする書類（規則第2条第1号又は第2号該当の事業者にあつては、総括票及び個別票を作成した工場等ごと。）を添付してください。

別紙1 エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表

計画期間の初年度 平成26年度用 V2.0

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			熱量A-熱量B(※1)	二酸化炭素排出量(t-CO2)			
	数値A	単位	熱量A(GJ)	数値B	単位	熱量B(GJ)		(実排出係数)	(調整後排出係数)		
燃料	原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0	0	
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0	0	
	揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0	0	
	ナフサ		kl	0		kl	0	0	0	0	
	灯油		kl	0		kl	0	0	0	0	
	軽油		kl	0		kl	0	0	0	0	
	A重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
	B・C重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
	石油アスファルト		t	0		t	0	0	0	0	
	石油コークス		t	0		t	0	0	0	0	
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	113	t	5,740		t	0	5,740	339	339
		石油系炭化水素ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0		t	0	0	0	0
		その他可燃性天然ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0
	石炭	原料炭		t	0		t	0	0	0	0
		一般炭		t	0		t	0	0	0	0
		無煙炭		t	0		t	0	0	0	0
	石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0	
	コールタール		t	0		t	0	0	0	0	
	コークス炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
高炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0		
転炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0		
都市ガス	45.0	820	千m³	36,900		千m³	0	36,900	1,840	1,840	
小計			42,640			0	42,640	2,179	2,179		
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0	0	
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	0	
電気	一般電気事業者	昼間買電	5,874	千kWh	58,564		千kWh	58,564	3,084	2,385	
		夜間買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	
	その他	上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	
		上記以外の買電		千kWh	0		千kWh	0	0	0	
自家発電		千kWh			千kWh						
小計			58,564					3,084	2,385		
原油換算エネルギー使用量 2,611 kl				合計			5,263	4,564	tCO <sub>2</sub>		
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							5,260	4,560	tCO <sub>2</sub>		

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

別紙1 エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表

計画期間の初年度 平成26年度用 V2.0

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			計画期間の初年度 平成26年度用			
	数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)	熱量A-熱 量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2) (実排出係数) (調整後排出係数)		
原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0		
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0		
揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0		
ナフサ		kl	0		kl	0	0	0		
灯油		kl	0		kl	0	0	0		
軽油		kl	0		kl	0	0	0		
A重油		kl	0		kl	0	0	0		
B・C重油		kl	0		kl	0	0	0		
石油アスファルト		t	0		t	0	0	0		
石油コークス		t	0		t	0	0	0		
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	30	t	1,524	t	0	1,524	90	90	
	石油系炭化水素ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0	
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0	t	0	0	0	0	
	その他可燃性天然ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0	
石炭	原料炭		t	0	t	0	0	0	0	
	一般炭		t	0	t	0	0	0	0	
	無煙炭		t	0	t	0	0	0	0	
石炭コークス		t	0		t	0	0	0		
コールタール		t	0		t	0	0	0		
コークス炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0		
高炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0		
転炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0		
都市ガス	45.0	132	千m³	5,940	千m³	0	5,940	296	296	
小計			7,464			0	7,464	386	386	
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0	
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0	
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	
電気	一般電気事業者	昼間買電	1,244	千kWh	12,403	千kWh	12,403	653	505	
		夜間買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
自家発電		千kWh		千kWh						
小計			12,403				653	505		
原油換算エネルギー使用量			513 kl	合計			1,039	891	tCO <sub>2</sub>	
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							1,040	891	tCO <sub>2</sub>	

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

別紙1 エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表

計画期間の初年度 平成26年度用 V2.0

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			計画期間の初年度 平成26年度用			
	数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)	熱量A-熱 量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2)		
								(実排出係数)	(調整後排出係数)	
原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0	0	
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0	0	
揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0	0	
ナフサ		kl	0		kl	0	0	0	0	
灯油		kl	0		kl	0	0	0	0	
軽油		kl	0		kl	0	0	0	0	
A重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
B・C重油		kl	0		kl	0	0	0	0	
石油アスファルト		t	0		t	0	0	0	0	
石油コークス		t	0		t	0	0	0	0	
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	77	t	3,912	t	0	3,912	231	231	
	石油系炭化水素ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0	
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0	t	0	0	0	0	
	その他可燃性天然ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0	
石炭	原料炭		t	0	t	0	0	0	0	
	一般炭		t	0	t	0	0	0	0	
	無煙炭		t	0	t	0	0	0	0	
石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0	
コールタール		t	0		t	0	0	0	0	
コークス炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
高炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
転炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
都市ガス	45.0	369	千m³	16,605	千m³	0	16,605	828	828	
小計			20,517			0	20,517	1,059	1,059	
熱	産業用蒸気		GJ	0	GJ	0	0	0	0	
	産業用以外の蒸気		GJ	0	GJ	0	0	0	0	
	温水		GJ	0	GJ	0	0	0	0	
	冷水		GJ	0	GJ	0	0	0	0	
	小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	0
電気	一般電気事業者	昼間買電	2,525	千kWh	25,174	千kWh	25,174	1,325	1,025	
		夜間買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
自家発電		千kWh		千kWh						
小計			25,174				1,325	1,025		
原油換算エネルギー使用量			1,179 kl	合計			2,384	2,084	tCO <sub>2</sub>	
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							2,380	2,080	tCO <sub>2</sub>	

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。

別紙1 エネルギー起源二酸化炭素排出量計算表

計画期間の初年度 平成26年度用 V2.0

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			計画期間の初年度 平成26年度用			
	数値 A	単位	熱量A(GJ)	数値 B	単位	熱量B(GJ)	熱量A-熱量B(※1)	二酸化炭素排出量 (t-CO2) (実排出係数) (調整後排出係数)		
原油(コンデンセートを除く。)		kl	0		kl	0	0	0		
原油のうちコンデンセート(NGL)		kl	0		kl	0	0	0		
揮発油(ガソリン)		kl	0		kl	0	0	0		
ナフサ		kl	0		kl	0	0	0		
灯油		kl	0		kl	0	0	0		
軽油		kl	0		kl	0	0	0		
A重油		kl	0		kl	0	0	0		
B・C重油		kl	0		kl	0	0	0		
石油アスファルト		t	0		t	0	0	0		
石油コークス		t	0		t	0	0	0		
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	5	t	254	t	0	254	15	15	
	石油系炭化水素ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0	
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	0	t	0	0	0	0	
	その他可燃性天然ガス		千m³	0	千m³	0	0	0	0	
石炭	原料炭		t	0	t	0	0	0	0	
	一般炭		t	0	t	0	0	0	0	
	無煙炭		t	0	t	0	0	0	0	
石炭コークス		t	0		t	0	0	0	0	
コールタール		t	0		t	0	0	0	0	
コークス炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
高炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
転炉ガス		千m³	0		千m³	0	0	0	0	
都市ガス	45.0	319	千m³	14,355	千m³	0	14,355	716	716	
小計			14,609			0	14,609	731	731	
熱	産業用蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	
	産業用以外の蒸気		GJ	0		GJ	0	0	0	
	温水		GJ	0		GJ	0	0	0	
	冷水		GJ	0		GJ	0	0	0	
小計	0	GJ	0	0	GJ	0	0	0	0	
電気	一般電気事業者	昼間買電	2,106	千kWh	20,997	千kWh	20,997	1,106	855	
		夜間買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
	その他	上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
		上記以外の買電		千kWh	0	千kWh	0	0	0	0
自家発電		千kWh		千kWh						
小計			20,997				1,106	855		
原油換算エネルギー使用量			919 kl	合計			1,837	1,586	tCO <sub>2</sub>	
合計二酸化炭素発生量(有効数字処理後)							1,840	1,590	tCO <sub>2</sub>	

※1 熱については、数値A-数値B

※2 自家発電について、販売されたものがある場合は、販売された電力に係わる二酸化炭素排出量に、-1を乗じた数値を「二酸化炭素排出量」欄に記入する。